

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2396300010
事業所名	グループホーム設楽名倉の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 管理者が町の依頼で講演したことから、事業所への理解とともにおむつの差し入れの輪が広がっていることが今年のトピックスです。近隣農家からは白菜、大根、玉蜀黍、胡瓜、茄子が季節毎に届いており、「皆で食べてね」と面会で家族が置いてゆく西瓜などを併せると「八百屋さん」が開けそうな程豊富で、先日は軽トラックで大きなカボチャも運ばれてきています。また訪問理美容師は地域の四方山話で場を和ませてくださるほか、「いつでも～」と支援に前向きです。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族、地域、行政が顔を揃え、運営推進会議の隔月開催が叶っています。これまで運営推進会議に区長の出席がないことが課題としてあったものの、管理者から言い出しにくく優先順位を下げていましたが、参加者から「(災害も各地で起きてるし)避難場所の区長、此処の事業所がある地区の区長、両区長には出てもらった方がいいんじゃないか」と声があがり、管理者も背中を押されて「開催案内」「前回の議事録」を送るに至っています。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 町の依頼があり「グループホームってどんなところ？」という演目で管理者が認知症の講演をおこなっています。参加者にグループホームや認知症のことを理解してもらえたことはおむつの寄贈などで事業所を訪れる人が増えたことで受けとめられ、「やって良かった」に結ばれています。管理者は他にも高齢者まちづくり会議の委員も拝命しており、今後は事業所の人手不足に留まらず、町の人材活性化や高齢者の雇用といった面にも目を向けて尽力していきたいとしています。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 1ヶ月の様子を手書きで送ったり、面会では話をするよう努めるものの、普段は評価の言葉はあがってはいません。ですが、移設後の衣替え等が遠方の家族では一苦労と察すると速やかに手を貸すといった親切的な対応を旨とする姿勢から、ひとたび入退院を繰り返すと(比較できることから)「此処が一番いい」と言ってもらえたり、利用者家族が「話しやすいもので」と介護保険に無縁の行政書類のことで相談に来る等、家族の物心両面の拠り所となっていることが窺えます。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	◎